

## 【認知症対応型共同生活介護用】

## 1. 評価報告概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0572110104
法人名	社会福祉法人 大館圏域ふくし会
事業所名	グループホームたしろ
所在地	秋田県大館市岩瀬字岩瀬上野35番地 (電話) 0186-54-2721
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団
所在地	秋田市御所野下堤5丁目1番地の1
訪問調査日	平成 21年 9月 16日

## 【情報提供票より】( 21年 8月 1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成16年8月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤7人, 非常勤3人, 常勤換算7.6人	

## (2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1 階建ての	1 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000 円	その他の経費(月額)	16,500 円	
敷金	有( 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		700 円	

## (4) 利用者の概要( 8月 1日現在 )

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名	
要介護1	0	要介護2	2			
要介護3	7	要介護4	0			
要介護5	0	要支援2	0			
年齢	平均	83 歳	最低	74 歳	最高	88 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人光智会西大館病院、田代診療所、猪野歯科医院、やまお歯科医院、木村眼科医院
---------	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは公共施設や保育園に隣接し、また地域の集落からもほど近い場所にありながら周囲を畑で囲まれ、落ち着いて暮らすことができる環境にある。  
職員一同が向上心を持ちながら働いており、年々サービスの改善が図られている。入居者がなじむまではご家族の宿泊も可能な支援体制を敷いているほか、入居者の山菜とりの希望に応じて諸君が同行するなど、入居者お一人お一人を大切にしていることがうかがわれる。  
また、バックアップ施設(特別養護老人ホーム)があることの利点を活かした実践活動を通じて、地域住民からも貴重な社会資源として支持されているホームである。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善事項であった「木製家具の角の安全対策」として、保護材を貼るといった改善を行っている。また、「退去先への情報提供」に関しても様式を整え対応できるようにしている。「入居者および家族の希望等の記録」についても整備されており、前回評価に真摯に対応したことがうかがわれる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>苦労しながらもスタッフ一人ひとりが自己評価に取り組み、それを管理者が取りまとめている。自己評価の記載について、今後は表現方法などを更に工夫し、具体的な活動が分かるようにすることで、良いPRにつなげていくことも期待される。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議では、ホームの運営に関する具体的な検討がなされている。会議での提案に基づいて備品(入居者がくつろげるようなソファ)を購入など、目に見える改善が行われている。また、運営推進会議の機会を通じてホーム側からも積極的に地域に関わり、具体的な地域連携を図る体制が確立されている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>ご家族からの意見をインシデント報告に残し、スタッフ間で共有している。その他苦情受付から解決までの仕組みもバックアップ施設同様に整備され、充実した体制となっている。また、玄関先にはご意見箱を設置し、さまざまな対応がとれるよう工夫している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>隣接している保育園との交流、また自治会の会合への出席、消防訓練への参加など、地域との連携が十分に図られている。バックアップ施設のフォロー体制も充実しており、地域連携に有効的に活用されている。また、近隣住民からの農作物の差し入れなどもあり、地域に根ざしたホームとなっている。</p>

## 2. 評価報告書

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	昨年度に理念の見直しを職場全体で行った。地域に根ざした生活を支援していくことを目的として、事業所の進むべき方向性を明確に打ち出している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員とともに理念の見直しを行った経緯もあり、管理者および職員が向上心を持って事業運営に取り組んでいる。職員もしっかり理念を理解し自分の言葉で説明できる。		
<b>2.地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	避難訓練、たんぼ会、慰問受け入れ、保育園との交流などを通じて、地域との交流の場を確保している。また、自治会の会合には職員が参加し、連携を一層充実できるよう努めている。		
<b>3.理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価結果を受けて、具体的な改善につなげている。具体的には、木製家具の角部の保護（安全性の配慮）、情報提供様式の整備（ケアの継続性への配慮）などがなされていることが確認できた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の内容も充実しているが、会議で提案された課題（入居者のくつろぎの場の確保）に対して、備品（ソファ）の購入を行うなど、具体的なサービス向上につなげる改善活動も行っている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の職員にも運営推進会議に参画してもらっているが、それ以外にも、広報誌を市担当者や地区支所などにも届け、連携に努めている。</p>		
<p><b>4.理念を实践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族には毎月、広報誌とスタッフが書いた入居者の様子に関するメモ、及び金銭出納簿を添えて報告している。また、入居者の様子に変化が見られる際は、随時ご家族にも報告を行っている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情受付のシステムはバックアップ施設と共通である。そのほか、日々の意見もこまめにインシデント報告にまとめ、スタッフ間で共有できる取り組みを行っている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の人事異動などに伴うスタッフの入れ替えについては、入居者とのなじみの関係を構築できるよう配慮しながら、勤務表作成の面においても、入居者の混乱が見られないように工夫している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5.人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>スタッフはバックアップ施設（特別養護老人ホーム）との合同の研修会に参加しているほか、外部の研修にも出席させている。ホーム内での研修の機会を確保することが難しいため、研修の報告を回覧する形で職員全体で結果の共有を図っている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営者および管理者は、同法人の他ホーム管理者との連携を図っているほか、市内の他ホーム管理者とも情報交換を図っている。</p>	○	<p>管理者の問題意識も高いことから、今後は市内の他ホーム全体でのネットワークづくりや勉強会など、現在の活動をさらに充実させ、一層の交流を図っていくことも望まれる。地域の中で組織化を図るリーダー的ホームとしての活動に期待したい。</p>
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>見学やショートステイに対応しているほか、本人がホームになじむまでは、ご家族が共に宿泊した事例があるなど、優れた対応を行っている。また、家具や食器なども本人が使い慣れた馴染みの物の持参を促している。</p>		
<b>2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>スタッフは、入居者がそれまでの生活をできるだけ継続できるように接している。畑作業や花の水やり、洗濯もの干しや調理の下ごしらえなどの作業をともに行いながら、入居者の意思を尊重したケアを実践している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居前に十分に生活歴や意向を確認しており、趣味や嗜好も把握している。入居後も、スタッフは入居者との会話を通じて意向を把握するように努めている。</p>		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>サービス提供に際しては、計画の段階で本人やご家族らとも十分に意思疎通を図り、サービス内容を検討した記録が残されている。介護計画立案に際してのチーム機能が発揮されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間を問わず、状態の変化があった際にはご家族等にも連絡を取りながら計画内容を見直し、スタッフに伝達したうえでサービス内容の変更を行っている。</p>	○	<p>状態変化による介護計画の変更について、ある程度までに対応できているが、今後は介護計画に関する変更内容について、関係者間により一層共有が図られるよう期待したい。</p>
<b>3.多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>ご家族の宿泊に対しても対応したり、バックアップ施設があることの利点（例えば備品の借り出しや日頃の報告・相談等）を活かした活動を行っている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4.本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援                      本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前のかかりつけ医を大切にし、受診できるように対応しているほか、協力病院についても選択できるように事業所からお願いしている。                      入居者によっては、ご家族が対応する形にはなるが、遠方の病院に継続して通院している方もいる。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有                      重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>バックアップ施設との連携をとりながら、利用者の重度化に対応できる体制を敷く方向で検討中である。昨年度も連日点滴に通うなどの対応を行った事例があり、管理者は今後状態が悪化するかもしれない入居者への対応についても考慮している。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1.その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底                      一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>スタッフの採用時には、個人情報保護に関する誓約書を取っている。また、入居者の居室や共用スペースなどにも不必要な個人情報の取扱いがなされていないことが確認できた。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし                      職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>日頃の散歩や買い物などの場面では一人ひとりの希望を大切にしているほか、お墓参りや山菜とりなど、入居者個別の希望があればそれにも対応するなど、優れた実践を行っている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の下ごしらえや調理など、入居者のできることや意欲を尊重しながら、スタッフと一緒に食事を楽しむことができるような関わりを持っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員体制からある程度曜日(月・水・金)は固定しているが、その中でも一人ひとりの希望を尊重しながら入浴を楽しむことができるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑仕事や花の水やり等のほか、家事全般に際して入居者の経験や能力を活かした関わり方をしている。他入居者とのトラブルが懸念される方には、気分転換の散歩を促すなどの対応を行っている。		
25	61	日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	玄関を出ると隣接する保育園の敷地があるなど、ホーム周囲の環境を有効活用しながら、日常的に戸外に出て気分転換を図り、事業所内にこもらないような支援を行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践  運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	身体拘束の弊害に関してスタッフが理解しており、玄関にはセンサーチャイムを取り付け、職員が入居者の動きを確認しながら対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>バックアップ施設との連携の下で、地域住民の協力を得ながら避難訓練を実施している。また、設置が義務付けられたスプリンクラーも今年3月に設置し、高い防災意識を持って対応している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立作成に関しては栄養バランスが偏らないように努めているほか、体重測定も行い、栄養摂取状態を把握している。食事摂取量が低下した方に対する通院等の対応も行っている。便秘予防のためヨーグルトの摂取を促すなどの工夫も行っている。</p>		
<b>2.その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間の窓は掃き出し窓となっており、そのままテラスに出ることができる。鉢花などが飾られた居間にはソファが設置され、居心地の良い空間である。その他の共用空間においてもさりげない飾りつけなどで季節が感じられるよう配慮している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室の壁は、湿度管理に効果がある珪藻土を用いている。また、居室には使いなれた家具などを持参してもらい、入居者が安心して過ごせる居室空間となるよう配慮している。</p>		

は、重点項目。